



(報道発表資料)

2016年11月14日

THK インテックス株式会社
株式会社エーアイスクエア

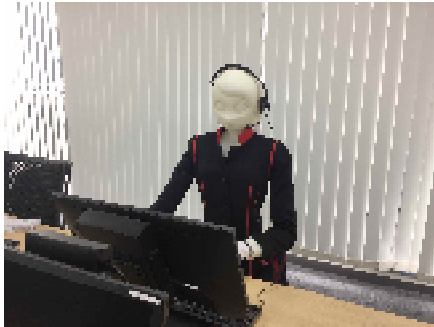
エーアイスクエアの次世代型コンタクトセンターにおいて
THK インテックスのサービスロボットがトライアル業務開始

THK インテックス株式会社(本社：東京都練馬区、代表取締役社長：寺町崇史、以下「THK インテックス」)と株式会社エーアイスクエア(本社：東京都港区、代表取締役：石田正樹、以下「エーアイスクエア」)は、エーアイスクエアの次世代型コンタクトセンター「RPA センター」において、THK インテックスが開発したサービスロボット「MT-7」がトライアル業務を開始したことを、お知らせいたします。

「MT-7」は、オフィス空間に人が座っているのと同じように配置され、人と同じ作業をしたり人の補助をする事で、デスクワークをサポートします。ロボット着用のウェアデザインを著名なファッションブランド「JUNKO KOSHINO」(本社：東京都港区南青山、代表取締役：鈴木弘之)に依頼し完成させた、先進性と親和性を併せ持つサービスロボットです。

「RPA センター」は、エーアイスクエアが有する自然言語処理 AI を実際の業務で活用するべく、本年10月より運営を開始した次世代型のコンタクトセンターです。オペレーターの業務を AI がサポートすることで、生産性の飛躍的な向上を図りつつ、業務の品質向上と高度化を目指します。エーアイスクエアの自然言語処理技術はディープラーニングに基づくもので、過去のオペレーター業務のやり取りやメールログ等を学習させることで短期間に Q&A システム、メール応答システム等を稼働させることができます。

両社は、人とロボット (AI) が協力しながら生産性を高めるというビジョンを共有し、今回のトライアルを実施することを決定しました。本トライアルでは当初、オフィス空間でも違和感なく安全に設置できる MT-7 の優位性を生かして、RPA センター内のオペレーターの近くに 1 体の MT-7 を配置し、必要に応じて業務を分担できる体制をとります。夜間や休憩中の業務引き継ぎを視野に入れて、人とロボットがシームレスに業務分担できるように検証作業を進めます。今回の取り組みを通じて、効果測定や課題抽出をおこない、将来的な機能強化や拡販を検討してまいります。



【THK インテックス株式会社について】

主な事業内容：双腕型産業用ロボット「NEXTAGE」の販売・オプション開発やエンジニアリング・サービス事業の展開をはじめ、自動化技術を活かした各種産業機械の設計製造など

所在地：東京都練馬区豊玉北四丁目 11 番 10 号

設立：1949 年 6 月

資本金：1 億円

従業員数：296 名

親会社：THK 株式会社（東証一部 6481）

【株式会社イーアイスクエアについて】

主な事業内容：AI 技術を活用したソリューションの開発、コンタクトセンターの運営

所在地：東京都港区新橋三丁目 1 番 10 号

設立：2015 年 12 月

資本金：9,000 万円

従業員数：14 名

親会社：株式会社ブロードバンドタワー（東証 JASDAQ 3776）

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

THK 株式会社 IMT 事業部 ロボット部

内山 雅博 TEL：03-5946-1950

株式会社イーアイスクエア

取締役 荻野 明仁 TEL：03-5510-2020

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

※記載されている情報は、発表日時点のものです。

※最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。